

令和元年度国民健康保険特別会計 3月補正予算概要

令和2年5月21日  
多摩市国民健康保険運営協議会  
資料2-①

1. 令和元年度3月補正の概要

歳入 国税収入は対前年度比で収納率の伸びが見られることから64,576千円増加と見込む。なお、保険給付費が当初予算から約2億円減で決算見込を立てたことから都支出金は大きく減額した。（被保険者総数はH31.4末時点34,240人からR元.12末時点33,071人に減少（事業月報より））。

(千円)

款	元年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額	当初からの増減率	増減要因
1 国民健康保険税	2,875,315	0	0	63,859	2,939,174	2.2%	徴収率（現年94.21%）、収納率の伸びが対前年度比で大きいため
4 使用料及び手数料	1	0	0	0	1	0.0%	
5 国庫支出金	650	0	149	264	1,063	63.5%	システム改修経費の補助金による
7 都支出金	10,667,669	0	0	-94,756	10,572,913	-0.9%	保険給付費の減に伴う
9 財産収入	1	0	0	88	89	8800.0%	利子積立の増による
11 繰入金	2,016,861	0	-13,709	-224,964	1,778,188	-11.8%	保険税の減、事務経費の減による
12 繰越金	1	0	350,907	0	350,908	35090700.0%	
13 諸収入	22,651	0	0	39,934	62,585	176.3%	延滞金収入、第三者納付金、返納金等の収入済額分
歳入合計(全体)	15,583,149	0	337,347	-215,575	15,704,921	0.8%	
法定外繰入を除いた歳入合計	14,582,857	0	337,347	7,262	14,927,466	2.4%	

歳出 保険給付費については、前年度ならびに今年度の執行状況等から今後執行見込を精査。レセプト分析上、金額別で80万円超200万円以下の高額レセプトが件数・金額ともに10%増だが、30万円以下の少額レセプトは件数・金額とも減、種別で医科外来は金額が2%伸びているものの件数は-2.6%、医科入院と歯科は-3%であった。これらの影響から、当初予算と比較して約2億円の減額と見込んだ。

款	元年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額(流用含)	当初からの増減率	増減要因
1 総務費	297,192	0	-13,560	-13,414	270,218	-9.1%	契約差金の計上による減、今後執行見込の精査による減
2 保険給付費	10,568,892	0	0	-203,312	10,365,580	-1.9%	4月から10月診療分を前年度と比較し、被保険者数減に伴いレセプト件数が2.2%減。医療費種別では入院医療費が減。30万円以下少額レセプトが件数金額ともにマイナスによる減。
3 国保事業費納付金	4,498,672	0	0	-110	4,498,562	0.0%	
5 保健事業費	190,336	0	0	1,173	191,509	0.6%	特定健診の受診率増の見込みによる増
6 基金積立金	51	0	0	88	139	172.5%	利子積立の増による
8 諸支出金	23,002	0	350,907	0	373,909	1525.5%	
9 共同事業拠出金	4	0	0	0	4	0.0%	
12 予備費	5,000	0	0	0	5,000	0.0%	
歳出合計(全体)	15,583,149	0	337,347	-215,575	15,704,921	0.8%	

2. 一般会計繰入金の内訳

款	項目	元年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額	当初からの増減率	増減要因
11	繰入金							
1	一般会計繰入金	1,863,429	0	-13,709	-224,964	1,624,756	-12.8%	
	1 基盤安定(軽減)	304,696	0	0	14,346	319,042	4.7%	均等割額改定による増額分を反映していなかったことによる増
	2 基盤安定(支援)	198,269	0	0	11,556	209,825	5.8%	
	3 職員給与等繰入金	327,412	0	-13,709	-20,445	293,258	-10.4%	契約差金の計上、今後執行見込の精査に伴う繰入対象費用の減
	4 出産育児一時金	32,760	0	0	-7,584	25,176	-23.2%	対象人数見込の減
	5 その他一般会計繰入金	1,000,292	0	0	-222,837	777,455	-22.3%	歳入歳出額精査に伴う赤字補填費用の減による